

世界遺産への登録をめざす 武家の古都・鎌倉ニュース

創刊号 平成 18 年 (2006 年) 10 月発行
発行 鎌倉世界遺産登録推進協議会
編集 広報報部会
事務局 〒 248-8686 鎌倉市御成町 18-10
鎌倉市世界遺産登録推進担当
Tel .0467-23-3000 Fax .0467-23-8700
E-mail: sekaiisan@city.kamakura.kanagawa.jp

市民結集に向けて！ 『鎌倉世界遺産登録推進協議会』 設立総会開催



総会で挨拶する
養老 孟司 会長

2006 年 7 月 24 日(月)、鎌倉商工会議所地下ホールにおいて、「鎌倉世界遺産登録推進協議会（以下「推進協議会」）」の設立総会が開催されました。

鎌倉は中世、源頼朝がこの地に幕府を開き、日本における武家政権発祥の地となりました。奈良、京都に並ぶ日本の古都三都の一つとして、また、鎌倉時代以来 700 年近く続いた武家社会の原型を現代に伝える貴重な歴史遺産を残す都市として、1992 年、国は世界遺産条約に基づき登録予定候補物件（暫定リスト）に、「古都鎌倉の寺院・神社ほか」と記載し、ユネスコの「世界遺産委員会」へ提出しました。

以来、「鎌倉の世界遺産登録をめざす市民の会」などの諸団体が、市民の立場から登録推進活動を進めてきました。

また鎌倉市では、山稜部の学術調査などに取り組むとともに、学識者で構成する「鎌倉市歴史遺産検討委員会」を設置し、学術的な検討を重ねてきました。2004 年 5 月には、同委員会から鎌倉の世界遺産登録に向けた考え方が「武家の古都・鎌倉」としてまとめられ、中間報告書が提出されました。

推進協議会が設立されたのは、こうした登録活動の実績が積み上がってきたこと、それにもかかわらず市民への広報や協働の取り組みが充分成されていない、という認識のもと、鎌倉市をあげて登録のための活動を行っていかうと考えられたからです。

2005 年 11 月には諸団体により構成された「鎌倉の世界遺産登録に関する市民の準備会」が検討を重ね、市民不在の世界遺産登録にならないよう、早期に推進協議会を設立する旨の提言をまとめました。その提言により、市内の様々な団体に参加を呼びかけ、この日に設立総会が行われることになった次第です。

65 団体 124 名が集まった設立総会では、呼びかけ人 8 人の紹介、準備会の代表である山内静夫・(社) 鎌倉同人会会長並びに石渡徳一・鎌倉市長の挨拶 (2P) のあと、座長として、久保田雅彦・鎌倉商工会議所名誉会頭が紹介され、議事が進められました。設立趣意書 (3P) の採択、会則の制定、活動の進め方（基本的な考え方）が確認されました。その後、久保田座長から、会長として、養老孟司・東京大学名誉教授を推す提案があり、大きな拍手により選出され、就任挨拶 (2P) が行われました。ここからは養老会長が座長となり、副会長、理事、幹事が選任 (3P) され、紹介されました。設立総会の結びは、吉田茂穂・鶴岡八幡宮宮司の挨拶で締めくくられました。

総会終了後、養老会長、副会長等の皆さんは記者会見に臨み、会場では続いて五味文彦・放送大学教授による記念講演（4.5P に講演要約を掲載）が行われ、世界遺産登録への理解を深めつつ、記念すべき設立総会の幕を閉じました。